

2018/09/16 丹後ウルトラマラソン 100 キロ初完走記

金子 健太

午前 4 時半、まだ朝日も昇らぬ暗闇の中、僕の 100km マラソンが始まりました。
初めての 100km で不安が大きい中でも、どこからか湧いてくる自信と新たな世界へ挑戦からのワクワク感でスタートしました。

目標は 9 時間切り、フルマラソンのベストからすると妥当なタイムでした。前半はキロ 5 分ペース、無理せず気持ちよく足を進めて行きました。

15 キロを通過する頃には辺りも明るくなり周りの選手の様子なども伺え、集団が出来てきました。問題が起きたのは 40 キロ地点を通過してから、ちょうど峠の頂上で下りに入ったのですが 1 回目の峠超えと、ここまでの疲労で前腿が痛み出しました。

とりあえず下りだったのでペースは維持したのですがここでの無理が後半からの走りに大きく影響…60 キロ地点手前ではキロ 6 分半までペースダウンしてしまいました。

そしてここからが丹後ウルトラの真骨頂、10 キロで標高 400m まで登る最後の難所です。ここまで歩かずに来ていたのですが流石にこの登りは歩くしか前に進めませんでした。山の中なので沿道の声援もなく、完走さえも出来ないのではないかととても不安になりました。

そんな時に力になったのが、後ろから追い越して来る選手の姿でした。

皆さんもそれぞれの目標に向かって走ってる、僕も KTC として走る初のレースだということに気付き、リタイアなんかしたら後悔するし、応援してくれる方に完走の報告さえ出来なると思い走り歩きを繰り返しながらなんとか最高地点まで登りました。

下りも痛みと戦いながら走りなんとか平地へ、時刻は正午を過ぎ上昇する気温に伴いペースはまたダウン…正直ここまでレースが辛いのは初めてでした。

ラスト 25 キロは死にものぐるいで脚を前に進めました笑、ここからは走って止まって歩いての内容のないレースなので省略。なんとかゴールまで辿り着き、最後は走ってゴール！

完走した達成感より、不甲斐なさが勝ってしまい正直あまり喜べませんでした。

今回のレースは完走出来たものの自分の中で納得のいく内容では無かったですが、その分学んだことも多くありこれからのマラソン人生に影響していくのではないかと思います。

エイドも含めてウルトラマラソンの雰囲気、そして丹後の豊かな自然や街の方の温かさを満喫できた素晴らしい大会になりました。

また挑戦しリベンジしたいと思います！